

【 2019(平成 31 年)年度『未来のパイロット』奨学金 】

日本航空大学校 募集要項

パイロットを志す優秀な学生が経済的負担によりその夢をあきらめることのないよう無利子貸与型奨学金『未来のパイロット』(以下、「本奨学金」)をスタートしました。

運営主体:一般社団法人 航空機操縦士育英会

構成社員:日本航空大学校、私立 5 大学、1 企業

【7 団体民間養成機関(2018 年 4 月現在)】

奨 学 金:運営主体が学生 1 人当たり 500 万円の奨学金を無利子貸与

運営経費:民間養成機関とエアラインで負担

日本航空大学校では一般社団法人航空機操縦士育英会(以下、「操縦士育英会」)の本奨学金について次の通り募集を行います。

1. 応募資格

次の各号全てに該当する者とします。

- (1) 日本航空大学校操縦科 4 年制課程に入学を希望する者
- (2) 操縦士育英会「未来のパイロット」募集要項の申請資格に該当する者

2. 受給者数

日本航空大学校操縦科では3名の推薦を予定します。

3. 応募方法

本奨学金を受けようとする者(以下、「応募者」)は、予め操縦士育英会所定の「未来のパイロット」募集要項に従い申請してください。

(「未来のパイロット」奨学金申請の流れ)参照

4. 奨学金『未来のパイロット』 給付時期及び金額

2年次 9月 250万円 給付 3年次 4月 250万円 給付

- * 2年前期学内最終選考にて確認された条件に合致しなくなった場合は給付の中止、または取り消しになる場合もあります。

5. 奨学金『未来のパイロット』 入学までの手続き

- 1) 入学選考スケジュールは日本航空大学校入試スケジュールに従う

- 2) 奨学金優先選考
 - a) 入試スケジュール第1期～第3期で優先選考を行う
 - b) 優先選考が基準に満たない場合には第4期～第6期での選考を行う場合もある
 - c) 入学時点で奨学金予定者が基準に満たない場合は、入学後追加選考を行う場合もある
- 3) 選考の種類、申請書類、期限
 - a) 日本航空大学校入学試験のすべての選考種類で申し込むことができる
 - b) 入試出願書類は日本航空大学校学生募集要項を確認のこと
 - c) 各入学試験出願受付期間とする
- 4) 入学試験
 - a) すべての選考種類で受験できるが、奨学金を申請した受験生には事前選考試験並びに適性試験、面接を実施する
- 5) 可否の発表
 - a) 操縦科可否は入学試験の結果を受け(仮合格)航空身体検査(第1種相当)予備検査を受け、その結果をもって操縦士練習許可書の交付を受けること(詳細は入学試験面談時に連絡)
 - b) 操縦科は身体検査に適合した段階で合格となるが、奨学金の受給に関しては事前の審査で推薦予定者とする(入学後の学業等が最終審査のため)

6. 奨学金『未来のパイロット』 入学から給付決定まで

- 1) 在学中の審査
 - a) 1学年終了時の成績を参考に最終選考を行う
 - b) 2学年前期までに必要な資格並びに証明書類等を提出
 - c) 2学年前期にて学内最終選考会議をもって奨学金給付資格を決定
- 2) 一般社団法人 航空機操縦士育英会への申請基準(学内最終選考)
 - a) 学業並びに人間的に優れているもの(成績、生活状況等)
 - b) 学長、学科長、教科担当含め5名以上の教員からの推薦が得られること
 - c) TOEIC 600点以上または英語検定2級以上を取得していること
 - d) 航空局「学科試験」に必要な時期までに合格、または合格見込みのこと
 - e) 総務省「航空無線通信士」資格取得又は取得見込みのこと
 - f) 奨学金制度上必要があれば航空会社等による審査合格すること

【日本航空大学校操縦科の基準等に関する問い合わせ先】

日本航空大学校操縦科(運航部)

住所：〒929-2372 石川県輪島市三井町洲衛9部27番地7

TEL：0768-26-2233(大学校代表)

E-mail：access@jaaw.ac.jp

「未来のパイロット」奨学金申請の流れ

奨学金希望者は、奨学金「未来のパイロット」に参画している学校等のホームページから、
申請書類等をダウンロード
オリコ「審査申込書兼同意書」含む

申請書類等を**操縦士育英会**へ郵送

日本航空大学校 操縦科（4年制）へ入学

操縦士育英会より、奨学金結果通知

日本航空大学校から、奨学生対象者の校内選抜

本申込 ※事前審査と本審査申込
オリコ本申込書・契約書類提出

2学年次の9月 250万円
3学年次の4月 250万円 の奨学金が訓練費用として充てられる。

卒業後 10年間で(株)オリエントコーポレーションへ返済

